

2006年1月16日

高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS)全国フォーラム 2006 (第2報)

高校生天体観測ネットワーク運営委員会

私たちは、1998年のしし座流星群の観測を契機に、高校生による天体観測のネットワークを全国に築いてきました。このネットワークは、教育・普及面の成果だけでなく、着実に科学的な成果も上げています。2005年度は、ディープインパクト、ペルセウス座流星群、火星、スプライト、夜空の明るさという様々なテーマに挑戦しました。2006年度は、水星太陽面通過、すばる食、夜空の明るさ等を予定しています。

今年実施した全国フォーラムに続き、第5回目のフォーラムを下記のように開催します。高校生による活動報告、交流会を中心に今後の活動に役立つ情報交換なども行えるように企画しております。今年度参加グループのみならず、来年度からの参加を予定しているグループも、是非ご参加ください。

記

1. 期日：2006年3月26日(日) 14時～

2. 会場：休暇村紀州加太
〒640-0102 和歌山市深山483
TEL 073-459-0321
<http://www.qkamura.or.jp/kada/>

3. 内容(予定)：

- ・ Astro-HS 活動報告
- ・ 観測会参加グループの研究発表(今年度の観測テーマ以外でも可)
- ・ 観測会参加グループの活動報告や交流会
- ・ 次年度観測テーマに関する発表

4. 発表形式：

口頭発表、ポスター発表

今回の「全国フォーラム 2006」では、できれば全ての参加グループの皆さんにポスター発表をしていただきたいと考えています。研究発表だけでなく、グループの日頃の活動報告などでも構いませんので、口頭やポスターで発表して下さい。また、ポスターセッションの時間を確保する予定です。グループ間の交流や、翌日の日本天文学会・ジュニアセッションの発表練習の場として活用して下さい。参加グループの皆さんの多数の発表申し込みをお待ちしています。なお発表の公募は、Astro-HS 参加グループのみを対象に行います。それ以外の個人や団体等の発表については、招待講演のみとし公募は行いません。

5. 旅費支給：

予算の限られた範囲内ですが、旅費(含宿泊費)を支給します。ただし、宿泊費の支給は、下記宿泊施設に、当委員会を通じて予約した場合のみ可能です。なお、高校生に対しては、助成金の規約上支給できません。

6. 宿泊：

宿泊希望の方は、今回のフォーラム会場である休暇村紀州加太に宿泊できます。100名程度まで宿泊可能です。高校生の宿泊は、1泊2食付きで8,000円程度で予約できる予定です。(正確な宿泊費およびキャンセルに係る情報については、後日メールにてお知らせします。)

7. バスによる送迎

26日(日)は南海加太線加太駅から休暇村紀州加太まで、27日(月)は休暇村紀州加太からジュニアセッション会場までの送迎バスが出る予定です。時刻等の詳細は現在調整中です。

8. 申し込み受付期間：

・2006年1月16日(月) ~ 2月14日(火)

参加及び発表申し込みの受理、並びに旅費・宿泊費支給の可否については、申し込み期限以降に申し込み者あてに通知します。また、発表者及び発表内容は <http://www.astro-hs.net/> にも掲載します。

9. 申し込み・問い合わせ先と方法：

申し込みは、以下のフォームに必要事項を記入しE-mailで finfo2006@astro-hs.net までお送りいただくか、<http://www.astro-hs.net/> の「全国フォーラム 2006」の「申し込みフォーム」から行ってください。

問い合わせは、E-mail (finfo2006@astro-hs.net) または <http://www.astro-hs.net/> の「全国フォーラム 2006」の「お問い合わせフォーム」からお願いします。会場・宿泊先のホテルへ直接お問い合わせすることは、ご遠慮下さい。

申し込み・問い合わせ先

京都市立塔南高等学校 有本淳一

〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町 41

TEL 075-681-0703 (緊急の連絡以外は、E-mail をご利用ください。)

E-mail: finfo2006@astro-hs.net

10. 詳細情報：

フォーラムの詳細情報・参加申し込み方法等は、<http://www.astro-hs.net/> の「全国フォーラム 2006」に随時掲載します。こちらをごらんの上、ご質問・お気づきの点がありましたら、E-mail か Web 上からお寄せ下さい。

11. 主催：

高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS)運営委員会

12. 共催(予定)：

天文教育普及研究会、日本天文学会、日本惑星科学会、東亜天文学会

13 後援(予定)：

自然科学研究機構・国立天文台、天文学振興財団、宇宙航空研究開発機構、日本理科教育学会、日本地学教育学会、日本理科教育協会、日本流星研究会、東京近郊地区流星観測者会、日本プラネタリウム協会、日本プラネタリウム研究会、全日本プラネタリウム連絡協議会、全国天体観測施設の会、全国科学博物館協議会、掩蔽観測グループ、日本HOU協会、京都大学附属花山天文台、通信総合研究所平磯太陽観測センター、太陽研究者連絡会、ライブ!ユニバース、彗星会議、地球電磁気・地球惑星圏学会

14. その他

この事業は、平成 17 年度「子ども夢基金」の助成金によって行われています。

高校生天体観測ネットワーク(Astro-HS) 全国フォーラム 2006 申し込みフォーム

- ・氏名 :
 - ・氏名のふりがな :
 - ・性別 :
 - ・勤務先・所属等の名称 :
 - ・連絡先 : (職場 自宅) 該当するものを残す
郵便番号...
住所 ...
電話 ...
FAX ...
E-mail ...
 - ・宿泊の利用 : (希望する 希望しない) 該当するものを残す
 - ・宿泊費支給 : (希望する 希望しない) 該当するものを残す
 - ・旅費の支給 : (希望する 希望しない) 該当するものを残す
 - ・希望する場合は、算定のために勤務先の最寄り駅をお知らせ下さい。
鉄道会社名... 、駅名...
 - ・航空路線の利用を希望する場合の旅費支給は、別プログラムとなります。
航空路線の利用ができるのは、3月25～28日の期間内です。
事前の申請が必要ですので、下に記入してください。
申請された方には、追って担当から航空路線利用旅費支給プログラムの資料をお送りします。
(申込み期間終了後に申請された場合には、航空機の費用を支給できません。)
航空機を (利用する 利用しない) ← 該当するものを残す
路線 : (空港 → 空港)
 - ・生徒の参加 : (あり なし) 該当するものを残す
生徒の参加予定人数... 人
生徒の参加が無い場合は、以下の項目に記載する必要はありません。
 - ・生徒の宿泊利用 : (希望する 希望しない) 該当するものどちらかを残す
希望する場合は、生徒氏名、学年、性別をお知らせ下さい。
生徒氏名 学年 性別
生徒 1 (男子 女子)
生徒 2 (男子 女子)
生徒 3 (男子 女子)
生徒 4 (男子 女子)
生徒 5 (男子 女子)
適宜追加してください。
部屋割りについては、こちらにお任せ下さい。他グループと同室になることがあります。留意事項などがありましたら、お知らせ願います。
 - ・発表について : (発表する 発表しない)
発表しない場合は、以下の項目に記載する必要はありません。
 - ・発表形式 : (口頭 + ポスター発表 ポスター発表) 該当するものを残す
 - ・発表テーマ :
 - ・使用機器 : (パソコン持参 パソコン借用 その他) 該当するものを残す
 - ・バスによる送迎の際の人数を記入してください。送迎不要の場合は0人と記入してください。
26日(日)【南海加太駅 休暇村紀州加太】 : (人)
27日(月)【休暇村紀州加太 ジュニアセッション会場】 : (人)
-